

2026 年 9 月 1 日
TOPPAN 株式会社

TOPPAN、「第 28 回自動認識総合展」に出展

「ID がつなぐ、現場が変わる、社会が動く。」をテーマに、
モノの流れをデータ化し現場変革を支援する IoT・自動認識ソリューションを紹介

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:野口 晴彦、以下 TOPPAN)は、2026 年 9 月 9 日(水)から 11 日(金)に開催される「第 28 回自動認識総合展」(会場:東京ビッグサイト)に出展します。

本展示会は、国内唯一の自動認識技術・ソリューションの専門展示会です。自動認識分野の最新技術や製品・ソリューションが一堂に会し、幅広い活用事例を紹介します。

TOPPAN ブース(南 3 ホール、小間番号:A-75)では、「ID がつなぐ、現場が変わる、社会が動く。」をテーマに、製造・物流・流通・医療など幅広い業界に向けた各種 RFID タグや、画像認識技術、ID マネジメントなど、現場から社会までを変革する最新の IoT・自動認識ソリューションを紹介します。労働力不足や業務の複雑化といった課題に対し、サプライチェーン全体の情報を ID で一元的に管理、連携することで、現場の業務効率改善と持続可能な事業運営を支援します。

また、TOPPAN は、展示会で開催されるセミナー「2026 EPC RFID FORUM×自動認識総合展」に登壇し、国際標準規格「GS1」の最新タグデータ標準「TDS2.0」に対応した RFID の活用について解説します。



ブースイメージ

■ 主な展示内容

・製造 DX コーナー

サプライチェーン上の商品・物流情報を企業間で共有するための国際標準「EPCIS 2.0」に対応したサプライチェーンマネジメントシステムにより、製造から販売までの RFID データを一元管理することで、複数企業間でのリアルタイム共有と、製造・物流情報のトレーサビリティを実現する環境を紹介します。その他、RFID 機能を搭載した自律走行搬送ロボット(AMR)による棚卸や、電池交換を前提としない省電力・電池レス型の IoT 技術(Ambient IoT)を使った鉄道車両用機器箱の開閉検知(※1)など、各種スマートタグやハンディリーダーを活用したソリューションを紹介します。

・物流 DX コーナー

温度ロガーやセンサータグなどの各種デバイスを、それぞれの課題に応じて最適に活用する温度管理

ソリューションを展示します。非接触での温度一括測定やリアルタイムでのデータ可視化により、物流や設備保全の現場における品質管理と点検業務の効率化を紹介。実際の測定や運用イメージを体験できるデモンストレーションもあわせて実施します。

また、「第 28 回自動認識システム大賞」を受賞した「RFID 搭載温度ロガーを活用した医薬品保管庫向け温度管理ソリューション」について、兵庫医科大学病院の導入事例を交えて紹介します。

・流通 DX コーナー

RFID タグや LED センサー、重量センサーを活用し、商品情報の提供と購買行動の可視化を実現するスマートシェルフを紹介します。店頭に並ぶ RFID タグ付き商品を手に取ると、サイネージに関連情報を表示するほか、LED センサーによりおすすめ商品へ直感的に視線を誘導します。また、消費者がどの商品を手に取り、購入に至ったかを把握することで、購買行動の分析および可視化が可能です。

あわせて、真贋判定やトレーサビリティ管理、不正流通対策が可能なプラットフォーム「ID-NEX®真贋判定/トレーサビリティシステム」を紹介します。

・医療医薬 DX コーナー

医療材料の入在庫状況や在庫数、使用履歴などを一元管理し、適正な在庫管理を実現する「NuBoMed(読み:ヌボメッド)スマートキャビネット」を出展します。製品を取り出すだけで使用履歴が自動記録される管理イメージを実際に体感できます。

また、手術室へのセット払出・返却管理や入在庫棚卸管理の効率化など、医療現場の業務負荷軽減に向けたソリューションを提案します。

■ 展示会概要

名称	第 28 回自動認識総合展
会期	2026 年 9 月 9 日(水)～11 日(金) 10:00～17:00
会場	東京ビッグサイト(南 3 ホール)
主催	一般社団法人日本自動認識システム協会
公式サイト URL	https://www.autoid-expo.com/tokyo/
TOPPAN ブース	南 3 ホール(小間番号:A-75)

■ セミナー情報

セミナータイトル	2026 EPC RFID FORUM×自動認識総合展 TDS 2.0 で描く島津製作所と TOPPAN の RFID 戦略
日時	2026 年 9 月 10 日(木) 15:20～15:50
会場	東京ビッグサイト 南 3 ホール展示会場内 セミナー会場 A
内容	国際標準規格「GS1」の最新タグデータ標準「TDS2.0(EPC タグデータ標準 2.0)」に対応した RFID の活用を紹介します。本講演では、株式会社島津製作所における先進導入事例を交え、TDS2.0 に準拠した RFID タグおよびシステム構築の経緯や特長を解説。事業部横断でのデータ連携や海外拠点も含めた高度な管理体制とデータ活用を紹介します。
登壇者	・株式会社島津製作所 製造本部 生産統括部 山下 祐嗣 ・TOPPAN 株式会社 情報ソリューション BU IoT ソリューション事業部 中山 裕康
参加費	無料
参加方法	事前予約制 https://www.autoid-expo.com/tokyo/jp/visit/seminar.php

■ TOPPAN の IoT ソリューション事業について

TOPPAN は、1997 年の RFID 事業開始以来、あらゆるモノ・コトに ID を付与することで、製造・物流・医療・社会インフラなど幅広い業界の DX を支援してきました。中期経営計画においても「IoT ソリューション」を戦略的注力事業と定め、さらなる事業成長と社会課題の解決を目指しています。

同事業では、安全・安心な IoT 基盤と高度なセンシング・通信技術が強みに、お客様の課題抽出から技術設計、導入後の伴走支援までワンストップで対応しています。業務効率化や品質保証、トレーサビリティなど多彩な価値創出を通じて、お客様の継続的なビジネス成長に貢献します。

※1 「Ambient IoT 通信研究コンソーシアム」の取り組みの一つとして、株式会社JR西日本テクノス、株式会社デンソーウェーブ、慶應義塾大学と共に実証実験を実施。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上